

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム きらめきトグチ

作成日：令和 8 年 2 月 25 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点・課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	47	朝・昼薬の飲ませ忘れが複数回発生している。	全ての誤薬をおこさない。 全ての職員は服薬内容等について把握し減 薬等の薬の変更も共有する。	朝・昼・夕・就寝前の与薬担当者、与薬後の確 認担当者を決める。服薬支援フローチャート (朝、昼、夕ごと)の作成をする。利用者の介護 記録には与薬者の名前を記録する。	0.5 か月
2	34	繰り返す転倒(歩行器歩行)はなぜ起こるのか。 事故とヒヤリハットのそれぞれの定義・分類を明 確にし、職員間で共有し事故の再発防止への 取り組みの強化。	転倒しない、させない、環境づくり。 緊急マニュアルの整備。	本人の身体的、精神的状態を考慮した上で本 人の視点に立ち、皆で転倒防止策を考えたい。 法人の(児童、高齢者共生ケア)捉え方を確認 し、ヒヤリハットと事故のそれぞれの定義・分類 を明確にする。緊急マニュアルの整備をする。	1 か月
3	35	夜間想定避難訓練が実施されていない。 感染症の予防及び蔓延防止についてマニュアル などの見直しをする。	夜間(1人)を想定した避難訓練を通して重要 な点を共有する。 感染症の予防及び蔓延防止についての指 針を整備する。	避難訓練の実施、訓練内容の記録と共有。 感染症の予防及び蔓延防止については法人と の連携の下、指針の整備、マニュアル等の見 直しをする。	1 か月
4	40	グループホームの趣旨として、「利用者と一緒に 食事を楽しむ環境作り」がなされていない。	食事時間は利用者と一緒に同じ食事を楽し むことにより、より一層の安心と信頼関係の 構築を目指します。	職員で話し合う。(どのような方法で・いつ・誰 が)など具体的内容を決める。 食事の内容、その時の利用者の様子等の記録 の仕方を皆で考える。	2 か月
5	49	行事としての外出支援が乏しい。	計画を立てて、四季折々の外出を支援す る。	「どこに行きたいか」利用者にアンケートを取 る。 毎月の行事計画を立て、担当職員を決める。 シフトに反映する。	2 か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。